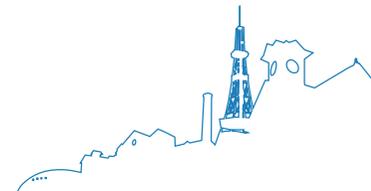


札幌市における MICE誘致の現況と取組



札幌市経済観光局観光・MICE推進部

札幌の国際会議（学会会議）



■ 札幌市の優位性

札幌市の強み ▶ 【都市と自然が共生】

都市中心部を横断する大通公園 ▶

- ・ビルや住宅が立ち並ぶ「高度な都市機能」と、森林や公園が面積の60%を占める「自然」が調和した都市
- ・会議会場から近いエリアに宿泊施設が充実するなど、都市機能がコンパクトに集積
→コンベンションが開催しやすい都市



地球惑星科学	感染症学
<p>地球科学に関する論文被引用数:国内 2位 市内には、宇宙関連のベンチャー企業が集積</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2019年7月 第82回国際隕石学会年会 (MetSoc) 	<p>北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター ▶ 新型コロナウイルスをはじめとした人獣共通感染症に特化した世界初の研究機関でありWHOに協力</p>
低温科学	獣医学・酪農学
<p>北海道大学低温科学研究所 ▶70年以上にわたる寒冷圏及び低温条件化における科学的現象の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2022年8月 第29回低温物理学国際会議 (LT-29) ※日本学術会議共同主催 	<p>動物・植物学論文被引用数:国内 3位 都市の中心部に58haの北海道大学札幌農場が広がり、獣医学・酪農学研究が盛ん</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2018年8月 第30回世界牛病学会 (WBC)



※JNTO「Japan: Competitiveness in Academia and Industry – Introduction of Excellent Cities」より

都市中心部に58haの北海道大学札幌農場が広がる ▶

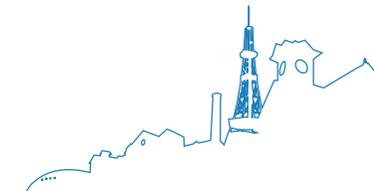
【近年の主な国際会議】

- 2022年 9月 第22回国際真空学会 (IVC-22) <2,000人>
※日本学術会議共同主催
- 2023年 8月 第35回国際電波科学連合総会 (URSI GASS) <1,200人>
※日本学術会議共同主催
- 2023年 9月 アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット (ATWS) < 800人>
- 2024年10月 全球エネルギー・水循環プロジェクト国際会議 (GEWEX-OSC) < 700人>
- 2024年11月 第8回アジア太平洋作業療法学会 (APOTC) <1,400人>
- 2026年 9月 第11回国際セラミックス会議 (ICC) <1,300人>
- 2030年 第24回世界神経放射線学連盟シンポジウム<2,000人>

【札幌市の重点産業分野】

観光 / 食 / 環境 (エネルギー)
健康福祉・医療 / IT・クリエイティブ

札幌の国際会議



■ 国際会議の開催状況

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
JNTO基準	116件	109件	102件	2件	0件	—
ICCA基準	24件	20件	25件	公表なし	公表なし	15件

【ICCAランキング（2022）】

都市名	件数	国内順位	AP順位	世界順位
東京	39件	1位	5位	41位
京都	29件	2位	9位	66位
札幌	15件 (25件)	3位 (5位)	16位 (27位)	138位 (117位)
横浜	15件	3位	16位	138位
神戸	10件	5位	24位	186位
仙台	9件	6位	28位	202位

※札幌市の()内は2019年

誘致活動



■ コンベンションビューローによる誘致活動

主な誘致活動

グローバルMICE都市として、コロナ禍においても誘致活動を継続

- 市内大学・国内外の学協会・PCO問合せ対応
(会場や運営会社の紹介、札幌の観光情報、写真の提供等)
- 提案書作成
- 大学や学協会訪問 等

国内外のMICE関係者に向けた広報

○札幌の魅力のPR活動
→札幌・北海道の最新トピックや会議施設・ホテル、ユニークベニュー
アクティビティ等の紹介

≪活用媒体≫

- ・ 札幌コンベンションビューローのウェブサイト
- ・ ニュースレター
- ・ SNS (LinkedIn)

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY

本学への取材・訪問・見学
キャンパスマップ・アクセス
お問い合わせ

AA 文字サイズ English 検索

北大に寄附する

国際交流・留学

ホーム > 関連情報 > MICEの誘致・開催に関する相談窓口 > 本学で誘致・開催する国際会議等 (MICE) に関する相談窓口はこちらから

MICEの誘致・開催に関する相談窓口

MICEとは

MICE (マイス) とは、「Meeting」(企業等の会議)、「Incentive Travel」(企業等の行う報奨・研修旅行)、「Convention」(国際機関・団体及び学会等が行う国際会議)、「Exhibition/Event」(展示会・見本市及びイベント)の頭文字を合わせた

本学で誘致・開催する国際会議等に関する相談窓口

札幌市では連携協定に基づき、本学が国際会議等の誘致・開催をする際の相談窓口を設置し、国際会議の誘致支援、開催支援に関する相談を受け付けています。

1. 問い合わせ
電子メール、問い合わせフォームのいずれでも可能です。

【札幌コンベンションビューロー】
E-mail: convention@plaza-sapporo.or.jp
(@をアットマークに換えて送信してください)
電話: 011-211-3675
Web: https://www.conventionsapporo.jp/j/

2. 相談内容及び利用の対象

- 相談内容
国際会議の誘致支援、開催支援
(誘致プロポーザルの準備支援、活用できる助成金の紹介等)
- 利用の対象
原則として、以下のとおり。
(1) 北海道大学が誘致・開催する会議・シンポジウム、
(2) 北海道大学の構成員(教職員等)が責任者となって誘致・開催する学会等の会議

▲北海道大学で誘致・開催する国際会議等に関する相談窓口を設置



■ コンベンションビューローによる開催支援

誘致促進助成金

コンベンションの誘致促進を図り、集客交流産業の振興や市民交流の推進に資することを目的とした補助制度

○補助対象：国際会議→参加者総数300人以上かつ海外参加者50人以上 or ICCA基準を満たす

国内会議→参加者総数1000人以上かつ道外参加者50%以上

○補助額：開催経費（飲食関係費は除く）の20%以内かつ最大1000万円

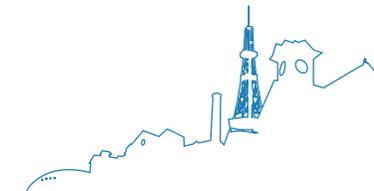
ハイブリッドコンベンション助成金

オンラインを併用するハイブリッドコンベンションの開催に対し、オンライン配信に係る経費の補助制度を創設

○補助対象：現地参加者総数100人以上かつ道外参加者割合50%以上のコンベンション

○補助額：オンライン配信に係る経費の50%以内（上限100万円）

札幌のインセンティブ旅行



■ 誘致・支援件数

※札幌国際プラザ・コンベンションビューローが 誘致・支援を行った件数を集計

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
件数	37件	54件	62件	78件	86件	58件	69件
参加者数	5,057人	5,517人	16,022人	13,233人	11,845人	14,811人	10,079人

【国別インセンティブ旅行の誘致・支援件数】

2013～2019	韓国	中国	台湾	香港	シンガポール	マレーシア
件数	62件	56件	69件	17件	15件	57件
人数	11,848人	8,928人	26,086人	3,703人	1,510人	8,544人
1件当たり	191人	159人	378人	217人	100人	149人
2013～2019	タイ	インドネシア	フィリピン	ベトナム	オーストラリア	その他 (多国籍)
件数	55件	66件	27件	17件	2件	1件
人数	6,245人	6,044人	2,061人	1,438人	97人	60人
1件当たり	113人	91人	76人	84人	49人	60人

- 2022年度の誘致・支援件数は、29件と回復傾向
- うち東南アジアからのツアーが25件
- 延べ参加者数は2,339人

ASEANTA招請事業



■ ASEANTA幹部招請

時期：令和5（2023）年6月20日（火）～23日（金）【3泊4日】

招請者：ASEANTA会長、ほか幹部2名 計3名

内容：札幌市内・近郊FAM、市内観光業界幹部との情報交換

【主なFAMの行程】



◀ サッポロピリカコタン



札幌市長表敬訪問▶

1日目	北海道IN<新千歳空港> 支笏湖畔散策 ↓ サッポロピリカコタン ※チセでミニコンサート（踊り・歌・演奏）、エント茶試飲 ↓ 宿泊<定山溪>
2日目	NIKI Hilliesワイナリー視察【ワイナリー、ガーデン（カートツアー）、買物】 ↓ 小樽運河（天候のため車窓見学） ↓ 札幌オリンピックミュージアム到着 ※アトラクション（テストジャンパー飛行）、名誉館長のガイドによるツアー ↓ 宿泊<札幌市内>
3日目	モエレ沼公園散策 ※学芸員による案内 ↓ 札幌市長表敬訪問 → 札幌中心部観光（札幌時計台・大通公園等） ↓ ザ・ロイヤルパークキャンパス札幌大通公園 ルーフトップ（※JAZZ演奏とコー） ↓ 締めパフェ体験 ↓ 宿泊<札幌市内>
4日目	市内ショッピング → サッポロビール園 ↓ 北海道OUT<新千歳空港>

ASEANT A 招請事業



ASEAN 有力旅行会社招請

時期：令和5（2023）年6月27日（火）～30日（金）【3泊4日】

招請者：ASEAN域内4市場（マレーシア、タイ、インドネシア、シンガポール）の有力旅行社

内容：札幌市内・近郊FAM、市内観光関連事業者との商談会・ネットワーキング

【主なFAMの行程】



◀ B to B 商談会



大倉山ジャンプ競技場 ▶

1 日目	北海道IN<新千歳空港> 羊ヶ丘展望台（Photo）→ 真駒内頭大仏（ラベンダーの名所） ↓ 定山溪ルミナリエ見学 ↓ 宿泊<定山溪>
2 日目	定山溪（カヌー・ジャムづくり・古代パン作り・ツリートレッキングから選択） ↓ サッポロビール博物館 ↓ 札幌市電貸切 ↓ 寿司づくり体験・締めパフェ体験 ↓ 宿泊<札幌市内>
3 日目	大倉山ジャンプ競技場到着（オリンピックミュージアム見学） ↓ 北海道神宮見学 ↓ B to B 商談会 ↓ 宿泊<札幌市内>
4 日目	藻岩山観光（ロープウェー貸切） ↓ 小樽運河周辺散策 ↓ 白い恋人パーク到着・見学 ↓ 北海道OUT<新千歳空港>

札幌の魅力



■ プレ・ポストMICE

魅力的な自然環境と多彩なコンテンツ

- **安全・安心でおいしい食体験**
→日本一の食料自給率、豊かな道産食材
- **明瞭な四季の変化、冬の寒さや美しい雪**
→さっぽろ雪まつり、ウインタースポーツ
- **日本新三大夜景都市（2022年再認定）**
→藻岩山、札幌テレビ塔、羊ヶ丘展望台等からの夜景
- **日本三大イルミネーション（2022年再認定）**
→さっぽろホワイトイルミネーション
- **世界水準の文化・芸術施設やイベント**
→コンサートホール「kitara」、オペラ・バレエ鑑賞ができる「hitaru」、世界三大教育音楽祭「PMF」

ユニークベニュー

- 札幌の多彩な観光資源を活用したユニークベニューの提供

《過去の活用事例》

大倉山ジャンプ競技場、モエレ沼公園のガラスのピラミッド
JRA札幌競馬場 など

ホワイトイルミネーション ▶



◀ kitara

藻岩山からの夜景 ▶



大倉山
ジャンプ競技場

モエレ沼公園の
ガラスのピラミッド ▶



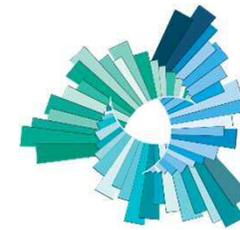
札幌の持続可能性



■ サステナビリティ

札幌の取組

- GDS-Movement（環境配慮の国際的指標プログラム）への加盟（2016年）
- SDGs未来都市に選定（2018年）
- フェアトレードタウンに認定（2019年）
- LEED for Cities and Communities プラチナ認証の取得（2020年）
- 2050年「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、札幌市気候変動対策行動計画の公表と気候非常事態宣言を発出（2021年）



GLOBAL
DESTINATION
SUSTAINABILITY
MOVEMENT



カーボンオフセットプログラム

一般社団法人さっぽろ北海道MICE振興協会と連携し、コンベンション参加者の移動や宿泊時に生じる二酸化炭素を地域の森で吸収する循環型モデルを構築





©imagenavi

ご清聴ありがとうございました。